



愛媛医療センターニュース

石 鎚 ーいしづちー

2026
第82号
1月1日発行

発行者：愛媛県東温市横河原366 国立病院機構愛媛医療センター 発行責任者：院長 舟田淳一 <https://ehime.hosp.go.jp>



撮影協力：ライディングクラブ フォーレスト(東温市松瀬川)

瑞祥新春

謹んで新年のお慶びを
申し上げます
皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます
本年もよろしく
お願ひいたします

二〇二六年 元旦

愛媛医療センター職員一同



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。地域の皆様、そして当院職員の皆様に心より感謝申し上げます。

近年、気候変動や不安定な経済情勢に加え、物価上昇と据え置かれた診療報酬により、国内の病院経営は極めて厳しい状況にあります。当院もコロナ禍以降、医業収支の改善に苦慮しており、決して楽観できる状況ではありません。しかし、このような時代だからこそ、安定した地域医療を継続的に提供することが愛媛医療センターの使命であると強く自覚しています。

私は平成7年4月に着任し、長きにわたり当地区の医療に携わってまいりました。医師としてのキャリアも終盤に差しかかっていますが、当院を次世代へしっかりとつなぐことが私の責務です。その最大の目標は、老朽化した外来・検査棟の建て替えです。これから国立病院機構本部との交渉が始まりますが、同時に医業・経常収支の改善に向けた戦略も不可欠と考えています。

加えて、地域の医療機関や行政、介護・福祉施設との連携をさらに強化し、災害時の医療体制や高齢化社会への対応を万全にすることが重要です。予防医療や健康啓発活動にも積極的に取り組み、地域全体で「健康を守るネットワーク」を築いていきたいと考えています。

当院の理念である「信頼される医療の提供」と「働きがいのある病院」を実現するため、職員一人ひとりが笑顔で患者さんと接し、互いに尊重し合える職場環境を築いていきます。私たちの結束と前向きな姿勢が未来を切り開きます。新しい年が地域の皆様、そして職員にとって安定と希望に満ちた一年となり、愛媛医療センターがさらに信頼される病院へと進化することを心より願っています。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

愛媛医療センター 院長 船田 淳一



繋がる地域医療連携

当施設は介護付き有料老人ホーム・特定施設入居者生活介護の指定許可を受けた施設です。

愛媛県東温市田窪にある「笑歩会東温」は、県道森松重信線沿い、市役所や郵便局の近くに位置し、田窪駅から徒歩4分と場所の良さが魅力です。

居室はプライバシーを守れる全室個室で和の趣を織り交ぜた洋室仕様。

廊下・食堂・トイレ・お風呂・イベント共有スペースは広いゆとりのある施設です。

多職種連携や24時間介護体制で生活を支援しながら、当社の理念である“心が動けば体が動く。笑顔を育み共に歩む”を実施し、楽しく安心して生活できる環境を提供しています。

当施設の一日は、まず朝日が差し込み小鳥の声を聞きながら施設利用者の皆さまは穏やかに一日を始めます。自室で過ごされる時間。ご飯は栄養士監修のもと、栄養計算され、食事形態についても刻み食やミキサー食への対応も個別に対応することができます。午後は食堂でおやつを食べながらTV鑑賞や他の入居者様とのおしゃべりをしたり、夕暮れにはゆったりとした時間を過ごし、夜

笑歩会東温

は柔らかな照明のもと就寝となります。

年間を通じて季節行事を各種開催、交流により笑顔のある生活が営まれています。入居されたその日から“ずっと我が家”的ように、日常生活が穏やかに、紡がれています。

施設名：株式会社アコンプリシー

介護付有料老人ホーム笑歩会 東温

住所：東温市田窪332番地2

電話：089-955-0788

入居相談：笑歩会本部 電話089-921-0211

平日9:00～17:00



医心伝心

食道アカラシアのおはなし

食道アカラシアという病気を聞いたことがあるでしょうか？少しカッコイイネーミングですが名前を見てもどういった病気か想像しにくいと思います。

食道から胃のつなぎ目にあたる部分には下部食道括約筋という筋肉があり、食物を飲み込むと自然と開き、胃への食物の流れがスムーズに行われます。

食道アカラシアでは下部食道括約筋が常に閉まった状態にあり、食道内に食物や唾液の渇滞が起きて食道が広がってしまう病気です。まれな疾患で、性差はなく、20～50歳と比較的若年の発症が多いとされています。日本人よりも欧米人に多いと言われ、食道がんの発生率が高いと考えられています。

主な症状はグップ、胸焼け、胸のつかえ、背部痛、食後に食物がそのまま出てくるなどです。特に冷たい流動食が飲み込みにくくなります。気候や精神的な影響も受け、症状が変動することがあります。胸部レントゲンやCTなどにて食道に液体や残渣の貯留を認め、診断には食道X線造影検査や内視鏡検査、

食道内圧検査などが行われます。

現時点では明らかな原因は不明で、確かな予防法はありません。ただし有効な治療法は確立されており、適切な治療を受けることで、生活の質を保つことが可能となっています。

軽傷の場合には、下部食道括約筋を緩める作用のある薬物を使用したり、口から内視鏡を使って狭くなった部位を風船状のバルーンで膨らませます。

重症の場合には、外科的に食道の筋肉の一部を切開したりします。近年、症例数が増加しているのは、口から内視鏡を使って筋層を切開する方法で、身体への負担が少なく、注目されています。

比較的若い方で、物を飲み込みにくい、胸につかえた感じがある、吐いてしまうといった症状が慢性的にみられる場合には、食道アカラシアを疑う必要があります。このような症状がある方は医療機関を受診してください。



消化器内科医長 古田 聰

東温市健康フォーラム2025

2025.10.5(日)

当院は、地域医療機関や行政、住民の皆さんと協力し、地域全体で健康を支え合う体制づくりを目指しています。その一環として10月5日(日)に開催された「東温市健康フォーラム」へ参加し、「呼吸器疾患の予防を目的とした『肺年齢を測ってみよう』コーナー、さらに薬剤師会と協力した『お菓子でお薬づくり』体験ブースを担当しました。

『肺年齢を測ってみよう』では、当院の呼吸器内科医師がスパイロメーターを用いて本格的な肺機能測定を行いました。来場された方は、「思っていたより若かった」「普段意識していなかったけれど数値で見るとわかりやすい」といった感想が聞かれ、ご自身の健康状態を客観的に知る貴重な機会となったようです。また、結果を受けて「これをきっかけに検査を受けてみます」「禁煙を考えたい」など、予防医療への意識向上につながる声も多く聞かれました。



AED体験



肺年齢測定

かけに検査を受けてみます」「禁煙を考えたい」など、予防医療への意識向上につながる声も多く聞かれました。

『お菓子でお薬づくり』体験では、お子さまから大人まで幅広い世代が参加し、薬剤師の指導のもと「薬の形や薬の一包化の工夫」を学びながら楽しめる内容となりました。

健康フォーラム全体を通じて、参加者の皆様が気軽に健康について考え、行動につなげるための良いきっかけづくりができたと感じています。今後も、地域と共に健康づくりの輪を広げる活動を継続してまいります。

地域医療連携係長 看護師長 亀岡福江

ここから
出てくるよ



お菓子で
お薬づくり

できたよ~



医療安全 管理室 だより

こんなことしています

和度等の監視装置)は欠かせないものとなっています。しかし、適切に使用しなければ有効活用することはできません。そこで、医療安全部会のモニターラーム対応グループでは、研修会と院内ラウンドを行い、モニターの適正使用を目指した活動を行っています。

モニターグループ発足2年目となる今年は、当院で主に使用している生体情報モニターのメーカーから講師を招き、テクニカルアラーム(使用方法が適切でない場合に発生するアラーム、電極外れや電池切れなど)を削減することを目的とした研修会を実施しました。専門的な内容を分かりやすく説明してもらったことで、研修に参加した医療従事者の90%が「研修について満足・ほぼ満足」と

モニターの適正使用を目指して

医療従事者が、患者の状態を把握していくための手段として生体情報モニター(心電図・血中酸素飽

回答するなど、患者さんの状態変化に迅速に対応していくための研修として理解が深まる有意義なものとなりました。

また昨年同様院内ラウンドを実施し、主に医療安全管理マニュアルの生体情報モニターの内容が定着していることを確認しています。

モニターおよびモニタリングに関しては、医療場面では日常的なことであるにもかかわらず、あらためて勉強する機会が少ない現状があります。医療安全部会・モニターラーム対応グループではモニタリングについて考える機会を職員に提供し、院内でのモニタリングを適切に行うこと、患者さんの安全を守りながら医療の提供ができるよう、継続して取り組んでいきます。

臨床工学技士 早田 博行



夢への
第一歩

東温市ジョブチャレンジ2025

2025年9月17・18日の2日間にわたって、「東温市ジョブチャレンジ2025」が開催され、当院でも3名の学生さんに、医療の現場をいろいろと体験していただきました。

一般の方は入ることができない、手術室や臨床検査科、栄養管理室などの見学には目を輝かせていました。

また、患者移動の体験では、思うように動かないストレッチャーに四苦八苦する姿も見られました。

体験後の感想を寄せていただきましたので、ご紹介します。

W・Mさん

この職場体験では、看護師についてとても知ることができました。また、院内を毎日歩き回っていてすごいなと思いました。

2日間で院内のたくさんの職業を体験することができて、とても貴重な時間を過ごせました。

T・Hさん

いつもは見ることができない手術室を見学できて、非常にいい経験になりました。2日間貴重な時間になりました。

今回の体験が、将来への一助になることを願っています。



エコー検査見学



ミクロの世界体験



薬剤分包体験

愛媛医療センターを調査せよ！

1年目看護師 レクリエーション研修

10月8日（水）に就職6ヶ月を迎えた新人看護師を対象に、レクリエーション研修を実施しました。テーマは「愛媛医療センターを調査せよ！」愛媛医療センターへの帰属意識や、他部門の職員と交流を深めることを目的に、新たに研修を企画しました！

新入たちは2人1組となり、用意された3つのミッションに挑戦しました。ミッション内容は、各部門の方々や副院長、事務部長、看護部長にインタビューを行い、「趣味」や「はまっていること」等を聞き出すこと。そして、笑顔でポーズを決めて一緒に写真撮影することです。慣れない部署や初めてに入る部屋に戸惑いながらも、ペアで協力し合い、楽しそうにミッションをクリアしていく姿が見られました。

こつちかなあ？



1カ所クリア



ミッションコンプリート



振り返り



マル秘ボックスゲット！



事務部長室

全てのミッションを終えた後は報告会を行い、各ペアが体験を発表しました。発表方法もクイズ形式にするなど工夫が凝らされ、会場は笑いと拍手に包まれながら、楽しく成果を共有する時間となりました。

参加した新人からは「楽しかった」「リフレッシュできた」「知らないことがたくさんあった」といった声が多く聞かれました。また、「他部門の職員とも積極的に関わっていきたい」という前向きな意見もあり、研修を通して自施設への理解と親しみが深まった様子でした。

今回のレクリエーション研修は、交流を通してチームとしての一体感を育み、職員同士の絆を強める貴重な機会となりました。今後の成長がますます楽しみです。

教育担当看護師長 鳥羽 真理子

私たち…

四季焼餐 ～雑煮の巻～

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

「年越そば」を食べ、ゆく年を思い、「雑煮」を食べ、気持ちを新たに新年を迎える方も多いのではないでしょうか。そこで今回は、「雑煮」についてお話ししようと思います。

「雑煮」の歴史は古く、室町時代頃にはすでに食されていたようです。当時の武士の宴会では、必ず一番初めに酒の肴として雑煮が振舞われており、この習わしをもとに、一年の無事を祈りお正月に食べるようになったと言われています。

～雑煮の違いあれこれ～

(味付けについて)

京都を中心に、白みそ仕立ての関西風、関東・中国・九州地方中心にしょうゆ仕立てのすまし汁といった具合に、味付けは地方によって、また家

庭によっても様々なのでひとつくりにすることはできませんが、関西地方・関東地方という単純なものではなく、その土地の礎を築いた人が京都文化・江戸文化どちらの影響を受けているかが反映されているようです。全国的にすまし汁が多いのは、参勤交代で地方に江戸文化が伝わったためであるとも言われています。

(具材について)

具は、大根、人参、ねぎなどの野菜に加えて、例えば東北なら山菜やきのこ、新潟ならサケやイクラ、広島なら牡蠣といった具合にその土地の産物が入るようです。山村なら山の幸、漁村なら海の幸が盛り込まれますが、逆に山間部などでは普段手に入りにくい塩ブリなどを正月ならではのごちそうとして雑煮に入れることも多いようです。



地方や家庭ごとに異なる「お雑煮文化」ですが、いつもと一味違った「お雑煮」を召しあがってみるのもいいかもしれませんね。

ちよつと言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

次男が中学生の頃、難読漢字の問題で、私は挑戦してきたことがある。私の得意分野なので、ことごとく正確してみせると「どうさん、何者なん?」と、瞠目していた。親父の面目躍如といったところだ。それから暫くして、今度は数学の問題を持つてきた。

自慢じゃないが私は、数学に進化する前の、算数の時代から數とは折り合いか悪い。「微かに分かる」とか「分かつ積もり」どころではない。理解不能なところではない。

「お前、アホか」

「何にも書かんよりえかろ」

こんなやり取りがあったのを覚えている。

「ああ、これ習ったとき、インフルエンザで休んだったんや」と答えると、ため息と共に、「どうせん、クズやな」とひと言返ってきた。

またあるときは、「ピラミッド作ったん、誰か知つとる?」「あれだけでかい工事やけん、○林組か、K島建設やないか」「もう、喋るな!」一喝がとんできた。長男はどうと、私に輪をかけたバ

と問題を持つてくる口も、そう遠くなきかも知れない。そのときに、何と答えよう。このまま、お笑い路線を貫くか、真面目なじいじを装うか、悩ましいところだ。

願わくは、孫にアホな我が家のか、色濃く遺伝していくませんように、と祈る今日この頃である。

「あら、これ習ったとき、インフルエンザで休んだったんや」と答えると、「どうせん、クズやな」とひと言返ってきた。

樹懶庵



外来診療担当医表

内科外来直通電話 TEL.089-990-1834

外科外来直通電話 TEL.089-990-1835

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	吉井	関谷	岩田	関谷
		午後			船田		
消化器内科	9診	午前	古田	廣岡	横山	奥平	久保
		午後			古田		
糖尿病内科	12診	午前					
	9診	午前				中口	
	11診	午前			村上		宮崎(第4)
呼吸器内科	午後						
	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	三好	伊東
		午後					田邊
	11診	午前		渡邊		仙波	
		午後					
	8診	午前					山本
		午後	三好				
	8診	午前	松本			尾原	
脳神経内科	12診	午前		戸井			戸井
		午後	大八木				
整形外科	14診	午前				石川	
	15診	午前	宮本		石川	宮本	
	16診	午前	青木	玉井	青木		玉井
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本		
		午後					石丸
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
小児科(神経外来)	14診	午後	菊池		桑原(第1・3・4)		菊池
					野間(第2)		

専門外来(予約制)	月	火	水	木	金
心臓外科外来(院内紹介のみ)	16診				泉谷
脳神経外科(院内紹介のみ)	14診		松本・大塚(午後)		
ペースメーカー外来	16診			第2・4(午後)	
フットケア外来	小児面談室			第1・3・5	
ペインクリニック	12診		山内(午前)		
アスベスト外来	14診		午後	午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13:30~)			
S A S 外来	11診				渡邊(14:00~16:00)
頭痛外来	16診			永井(第2・4午前)	
神経難病	8診		橋本		
鼠径ヘルニア外来	14診		鈴木(午前)		
気胸外来	14診				湯汲(午前)
N T M 外来	8診		第2・4(13:30~15:30)		

※外来受付は8:30から11:00までです。内科は13:00から16:00までです。

2026年1月1日現在

ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

※ SAS(睡眠時無呼吸症候群) NTM(抗酸菌症)

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解をいただいております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。